

出版企画書

平成 26 年 5 月 9 日

和泉堂 – wasendou –

代表 坂上 透

1) タイトル

新約占書

2) サブタイトル

占い新時代の夜明け。

3) キャッチコピー(帯文)

そうだったのか！? 目から鱗の占い学。

占いのタブーに切り込む渾身の一冊！

誰も言えなかった間違いだらけの運勢学。

今一度、占い界を洗濯し候！

4) 本書の内容

ジャンルは占いです。運勢学の歴史は古く、西洋、東洋合わせて占術は多数ございます。古来からある伝統的な占術から、今風と申しますか、見せ方も独自のアレンジで、独自の表現を用いた占術（スピリチュアル系含む）も数多くございます。現代においては、時代時代のブームと情報化社会の加速で、誰の精査も受けず、古書を大事に進化もなく、占い、運勢学の間違った認識があたかも、これこそが正しい、これこそが真理であるが如くに、もはや常識として広がりきっている様相です。当方の最終的な目

的（大義）は、占い技法においても、概念（哲学）においても、イノベーションを起こすことにありますが、まずこの間違った認識を正すことが先にないと、それこそ絵空事に終わる可能性もあると判断しました。そこで、今まで誰も言えなかった、言い切れなかった、それこそ見る人によってはタブーに切り込んだ内容をここで公開し、世間様の非常識な常識を一度、真っ白に洗濯し、何が正しい認識なのか、何が真理であるのかを謙虚の上に立って鋭く記事（ブログ）にしてきたものをまとめてみました。それもこれも、背景には軍事力（イノベーション技法・概念）がしっかりあってのこと、根拠があってのこと、そして、ゆく未来の理想の姿が明確にとらえられているからこそその一歩、行動でございます。二部構成で、前編は論説風、後編は我々の哲学、軍事力が垣間見られる内容を盛り込んでおります。

5) 著者名

和泉堂（監修 北町 吾八） わせんどう・きたまちごはち

6) 著者プロフィール

流派としては1,500年前からの麻衣相法（観相学）を尊く、真摯に継承させて頂いております。一言でいえば、我々の占術の根本はどこまでも動的（陽法）見方の極み。本書でも片鱗として触れますが、動的（陽法）、静的（陰法）のシンプルな棲み分けと陽法の打ち出しをこれからのエンジンに！が実は革命的とも言えます。専門家と言わず、一般の方も目からウロコとも思われます。さて、家系としては約100年。当方（和泉堂）で3代目となります。稼業は指南業、開運業でございます。特に後編で登場します麻衣相学（人相）、易教、そして、別書出版企画の予知技能法「無相」・陽法手相術 水鏡法に至るまで、長年一家相伝（一子相伝）で守ってきた技法を一般公開する運びになったのは、第一に現代の混沌とした占い業界への警鐘です。このままでは遊びの占い、まがい物の占い、嘘、偽りがスタンダー

ドになりかねないこの流れを断ち切りたいとの思いからです。正しい知識をもって、それぞれの人生に活かしていただけるようにと大願しております。ここからの発信をもって、当方が示す内容の全ては、日本のみならず、世界規模でも通用する内容と自負も致しております。どこまでも「お役に立つ」ことの意義を、これからの占い界の、占い新時代の夜明けとして追及してまいりたいと思う所存でございます。

7) 企画意図

箇条書きでシンプルにまとめてみます。

1. 類書なし。業界のイノベーションに値する内容構成。
2. これまでにない表記、打ち出し方、断言的、飛躍したメッセージが可能。
3. ある意味での業界初の試み。
4. 知らなかった、知りたかったがぎっしり詰まったこれからのB i b l eに。
5. 他の類似分野、能力の意義、立ち位置、棲み分けが明快になる。（陽法・陰法）
6. 占法（術）の融合が実現可能。陰的（静的見方）と陽的（動的見方）の大融合。
7. 世間様から特別人間力の高い方に必ず目と心がとまる。

8) 企画の背景

占い本が過渡期であること。やはりどの分野、書籍も売れた、売れないに関わらず、憲法的存在にはなれませんでした。現代の最新情報（占学問）で、世界広しと言えど、バイブルには中々なりえないのです。それは、あまりに陰法書籍、静的内容、分析、統計的、コピーのコピーであったのと、もとより、特定の占法に限っては間違った歴史認識、原理、根拠の破綻、活用方法（効果）の過大評価等々が

目に余ることも少なくありません。また、あまりに根拠がなさすぎる、その人視点の価値観と表現が過ぎる詐欺的、独学（独自）占法もございます。総じて言えることは、実生活に本質的に活かさない、です。それもこれも、現代日本の贅沢病（平和ボケ）の所以であり、伝統的な占法もさることながら、新興占法のようにとらえられるジャンル、～系といったものは、特にこの20年もの間、書籍、インターネットを通じて沢山出てきました。その多くが、ただ単にブームにのり、千数百年前から書いていることをただ単に書き写したものであったり、表現を巧みに変えていることは明白であり、結局、価値は同様です。ただ、その中でもこういった未知なる分野における市民権は比較的多く得られるようになったことは、功績としては大きかったとも思いますが、その後の稚拙に、混沌とさせてきた占い師側（提供側）が問題であると思っております。これまでの占法や運勢学のとらえ方はピンクの電話、黒電話であれば、この書籍の内容はスマホ、iPadにいきなり飛躍した内容とも言えます。初めて見る方は、過激な内容に懐疑的に思われることもあるでしょうし、感動を覚える方も少なくないとも思います。どこか憲法的感覚で腹に修めるもよし、楽しみながらもよし、適正に棲み分けが出来る知識としてもよし、いずれにしても、この書籍を純粹に取り入れて頂ければ、それは確証に変わり、感動に変換できると思っております。それには、出版の段でのもう一つ加工した企画も重要とも考えております。

9) 読者ターゲット

- ① 20代～40代 女性。がまずメインになると思われます。
- ② 専門分野に精通している老若男女。（占いファン全体）

10) 類書

厳密には類書なし。専門書の一部に批評、批判、問題提起ありの内容（書籍）はございます。

11) 類書との差別化

信号機のない（交通整理がない）スクランブル交差点を渡るようなものが、類書。

信号機がある（交通整理がつく）スクランブル交差点を渡るのが、本書。

12) 体裁など

規格や企画はお任せしております。

13)原稿完成の予定

あり。

14) 企画者の要望

規格や企画はお任せしております。

15) この本を制作するために有利な条件

- ・ 教室、セミナー展開を行っております。（現行、小規模）
- ・ 易、占い道具販売を行っており、顧客様として 300 名のリストは保有。
- ・ F A C E B O O K など、S N S 戦略も今後、大いに検討。